

## 2024年度 シラバス

講義名	方法	学年	学期	単位	担当教員
柔道整復学総論	講義	1	前期	2	楠岡 崇

授業概要	骨の機能と形態、骨折の基礎の分類(骨折型や転位、症状など)、年代による骨折の特徴。関節損傷(脱臼や捻挫など)の分類や症状、治療法(整復法と固定法)の概説。
到達目標	骨折の一般的な分類や症状が把握できる。年代別の骨折の特徴が理解できている。関節損傷の分類や症状を理解する。整復と固定の要点を理解する。
成績評価	期末試験、提出物の合計で行う
実務経験	整骨院ならびに13年間の整形外科病院での勤務

前期	講義内容
1	オリエンテーション
2	骨の形態と機能、骨の部位名(海綿質まで)
3	骨の部位名(骨膜～静脈洞)、骨損傷の概説、骨折の分類①(疲労骨折まで)
4	骨折の分類②(病的骨折から不顕性骨折)
5	読み方の復習、骨折線の方法による分類～骨折の数による分類
6	外力の働いた部位による分類、屈曲骨折
7	圧迫骨折から骨幹部骨折、長骨の各部の名称
8	復習
9	骨折の症状①(一般外傷症状、固有症状)
10	骨折の症状②(転位と変形、転位の分類)
11	骨折の合併症①(併発症、続発症)
12	骨折の合併症②(続発症、後遺症)
13	小児骨折
14	高齢者骨折
15	期末試験
16	解答解説

使用教材	柔道整復学・理論編 第7版
------	---------------

## 2024年度 シラバス

講義名	方法	学年	学期	単位	担当教員
柔道整復学総論	講義	1	中期	2	楠岡 崇

授業概要	骨の機能と形態、骨折の基礎の分類(骨折型や転位、症状など)、年代による骨折の特徴。関節損傷(脱臼や捻挫など)の分類や症状、治療法(整復法と固定法)の概説。
到達目標	骨折の一般的な分類や症状が把握できる。年代別の骨折の特徴が理解できている。関節損傷の分類や症状を理解する。整復と固定の要点を理解する。
成績評価	期末試験、提出物の合計
実務経験	整骨院ならびに整形外科病院で13年勤務

中期	講義内容
1	骨折の治癒経過(各フェイズの生体内での変化)、骨折の予後
2	関節の損傷①(関節の基本構造、解剖学上の分類)、関節の正常による分類
3	脱臼①(定義、性状による分類)
4	脱臼②(数、発生時期、頻度と機序による分類)
5	脱臼③(一般症状、固有症状)
6	脱臼④(合併症、整復障害因子、経過と予後)
7	関節構成組織損傷①(捻挫の分類と症状、治癒機序、経過と予後)
8	関節構成組織損傷②(軟骨損傷、その他関節構成体の損傷)
9	関節構成組織損傷③(筋と腱の損傷、分類、治癒機序)
10	関節構成組織損傷④(末梢神経の損傷、分類、症状、治癒機序)
11	診察(概要、病歴聴取、身体診察、診療録の記載)
12	治療法①(骨折の整復方法、評価方法、要点)
13	治療法②(脱臼の整復方法、評価方法、要点)
14	固定法(骨折と脱臼の固定の要点、軟部組織損傷に対する初期処置)
15	期末試験
16	解答解説

使用教材	柔道整復学・理論編 第7版
------	---------------